

## テレフォニカ・エセ・アー —組織構造の刷新—

2011年9月6日

テレフォニカ（東証第一部（外国株）：コード9481）は、2011年9月5日に本国で以下の発表を行なった。

テレフォニカの取締役会業務執行委員会は、新たな時代が到来する中で、中・長期的将来を見据え、成長路線を強化し、デジタル世界に積極的に参加し、世界的規模と業界間の提携によってもたらされるビジネス・チャンスに余すところなく捉えるために、組織構造の刷新を承認した。

新組織構造の主な変更点は以下の通りである。

- ・ 新たな事業部門「Telefónica Digital」を設立する。ロンドンに本店を置き、マドリッド、サンパウロ、シリコンバレーそしてアジアにおける中心的都市に支店を置く。当該部門の使命は、デジタル世界におけるテレフォニカの位置づけを確かなものとし、こうした環境のもとで生まれる機会を最大限に生かし、革新を進め、商品・サービスの品揃えを充実させ、テレフォニカの層の厚い顧客基盤を最大限に活用することである。  
当該部門は、テレフォニカのNew Global Services Unit、Terra、Tuenti、Jajah、Telefónica R+D そしてMedia Networks等から選ばれた精鋭部隊で構成される。現在、テレフォニカ・ヨーロッパの統括責任者であるMathew Keyが同部門を率いる。
- ・ 市場の発展段階に応じて事業の地理的構成を合理化し、均衡を図り、二大商圏であるヨーロッパと南米に集約させる。スペインでの事業はヨーロッパに統合される。現在、テレフォニカ・ラテンアメリカの統括責任者であるJosé María Alvarez-Palleteがヨーロッパを統括し、戦略、財務および企画部門のゼネラル・マネジャーを務めた経験のあるSantiago Fernandez Valbuenaが南米を統括する。かかる変更に伴い、Angel Viláが、財務・企画部門の長として業務執行委員会に加わる。
- ・ グローバル・リソース部門を新設し、規模の経済を活用し、テレフォニカの真のグローバル企業への転換を推進することで、事業の収益性と持続性を確かなものとしていく。当該部門の統括責任者には、現在、テレフォニカ・スペインを率いるGuillermo Ansaldoが就任する。

かかる新たな組織構造の構築は、9名の委員から成る業務執行委員会が中心となって進められ、当社のシニア・マネジャーで構成される組織改革委員会がこれを補佐する。

マドリッド、2011年9月5日